

山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会・
パブリック・コミュニケーション高度化支援業務委託に係る企画提案審査委員会
会議録

(令和7年6月10日掲載)

1 日 時 令和7年5月13日(火) 8時58分～12時3分

2 場 所 県庁防災新館401会議室

3 出席者(敬称略)

(委 員) 宇佐美淳 後藤真吾 小林孝恵 羽田勝也 深澤弘樹
(事務局) 広聴広報グループ政策補佐 他(計2人)

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 審査委員紹介
- (3) 議事
- (4) 閉会

5 会議に付した事案の案件(又は議題)

- (1) 会議の非公開について【非公開】
- (2) 会長の互選について【非公開】
- (3) 審査委員会運営要綱の制定について【非公開】
- (4) 企画提案の審査及び受託事業者の選定について【非公開】

6 議事の概要

- (1) 会議の非公開について

(委員) 審議会については、山梨県情報公開条例に定める不開示情報に該当する事項について審議を行うときは、会議の全部または一部公開しないことができるとされている。本審議会ではプロポーザル審査を行うものであり、審査前に委員を公にすることで、審査の公正な遂行に支障を及ぼすおそれがある。また、議事(4)の企画提案の審査及び受託事業者の選定について、提案企業がこれまでの事業活動において蓄積したノウハウ等が含まれ、これを公にすることにより、提案企業の競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがある。よって山梨県情報公開条例第8条に規定する不開示情報に該当することから、本日の委員会のすべてを非公開とすることを提案するが如何か。

(異議なし)

(委員) それでは本日の委員会は非公開とする。

- (2) 会長の互選について

(委員) 附属機関の設置に関する条例第5条の規定により、審査委員会には委員の互選により会長を置くこととされている。皆様がよろしければ高度政策推進局次長の小林委員に会長をお願いしたいと思うが如何か。

(異議なし)

(会長) 皆様には審査委員をお引き受けいただき感謝。効果的な県政運営を実現するためには、施策事業の対象となる県民、また事業者の皆様は情報を正しく確実に届け、理解や共感を

得ていくことが非常に重要となっている。県では、かねてから伝える対象や内容に合わせた最適な手法、伝達経路での情報発信に全庁一体となって取り組みを進めているところである。一方、コミュニケーションの分野では、デジタル技術の進展や社会の変化に伴い、新たな手法やアプローチが続々と生まれており、また進化している。こうした分野の知見や経験を有する専門家の活用が必要。県職員では発想できない新たな手法を事業に取り入れ、コミュニケーションのさらなる高度化を図るため、専門家の選定にあたって、公募型プロポーザル方式を採用したところ、4社から応募があった。事業の効果を最大化するため、委員の皆様の方からの忌憚のない意見をいただく中で、事業者を選定したい。本日は審査についてよろしくお願いします。

(3) 審査委員会運営要綱の制定について

(会長) 附属機関の運営に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定めることとされている。資料1を御覧いただきたい。本委員会の業務としてパブリック・コミュニケーション高度化支援業務委託に係る企画提案を審査すること、庶務を広聴広報グループが処理することなどを定めるものである。これに御異議あるか。

(異議なし)

(会長) 要綱については、お諮りしたとおりとさせていただきます。

(4) 企画提案の審査及び受託事業者の選定について

(会長) 審査要領について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 審査要領について説明する。企画提案を募集したところ、4社から提案があった。プレゼンテーションは、企画提案書が広聴広報グループに届いた順に実施する。審査は提案者名がわからない形で行う。A社からD社という符号で案内する。まず、A社から順に、15分間プレゼンテーション、その後質疑を15分行う。質疑終了後、採点時間を5分とり、次の企業のプレゼンテーションに移る。これを繰り返す。提案4社のプレゼンテーション、質疑が終了したら、審査に入る。審査では、委員の皆様から各自2分程度を目安に発言いただく。その後、審査表を提出していただく。提出いただいた審査表の点数を事務局で集計し、結果を確認していただく。審査は企業名を伏せて行うので、プレゼンテーションや質疑の中で、企業名を特定するような質問はお控えいただきたい。また、本日の審査結果については、5人の審査委員の合計点と審査委員の氏名を公表する。また議事録の要旨についても公表するのであらかじめ御了承いただきたい。

(会長) 事務局からの説明に委員の皆様から質問等あるか。

(質疑なし)

(会長) 質問がなければプレゼンに入る。

(提案業者4社のプレゼンテーション、質疑)

(会長) 委員から各社のプレゼンに対するご意見を2分程度で伺いたい。

(各委員からの意見) ※

(会長) 審査表に点数を記入いただいて事務局に提出していただきたい。

(審査表を事務局で集計) ※

※ 審査結果（各事業者の点数及び委員の意見等）については、別紙 審査結果のとおり。

(会長) C社が402点で最高点であるため、C社を最優秀提案事業者に決定してよろしいか。

(異議なし)

(会長) 今後、県において契約の準備を進めていくが、契約の際に留意すべきこととして県に伝えることがあればお願いしたい。

(意見なし)

(会長) 県においては、審査の内容等も勘案しながら、よりよい事業成果を出せるよう事業執行に取り組んでいただきたい。以上で審査を終了する。

(事務局) 審査委員の皆様に感謝。冒頭申し上げたように、審査結果については、5人の審査委員の合計点を項目ごとに公表、また議事録についても、可能な範囲で公表していく。また本日のプレゼン内容については、企業のノウハウが入っていることから、外部へ公表しないようにお願いする。また、プレゼン資料は回収して処分するので、机の上にそのまま置いたままにしていきたい。加えて、事前に送付した電子データについても、削除していただきたい。本日はお忙しいところ、出席いただき感謝。

別 紙

山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会・パブリック・コミュニケーション高度化支援業務委託に係る企画提案審査委員会 審査結果

【審査年月日】令和7年5月13日

【担当所属】高度政策推進局広聴広報グループ

	評 価 項 目	配点	A社	B社	C社【最優秀提案事業者】 (株) プラップジャパン	D社
1	業務の理解 ・本県の取り組みや本事業の目的・必要性を十分に理解した上での提案になっているか。	10点×5人 50点	28	42	36	40
2	委託業務の実施体制 ・人員体制配置予定者の専門性は十分か。 ・実施体制及び役割分担が具体的に明示され、事業を円滑に進められる体制であるか。 ・突発的な依頼に対しても迅速に対応できる体制となっているか。	10点×5人 50点	42	34	42	32
3	過去の実績・類似する業務の経験 ・事業の確実かつ効果的な実施が期待できる十分な実績を有しているか。	5点×5人 25点	22	17	20	16
4	組織体制強化業務 ・提案者の独自のノウハウやネットワーク、視点を活かした手法が提案されているか。	15点×5人 75点	48	48	57	45
5	現状把握・分析業務 ・提案者の独自のノウハウやネットワーク、視点を活かした手法が提案されているか。	15点×5人 75点	48	51	54	45
6	助言・活動支援業務 ・提案者の独自のノウハウやネットワーク、視点を活かした手法が提案されているか。 ・県民や事業者等のステークホルダーとのコミュニケーション及びマスコミュニケーションの両方の視点からの提案となっているか。	25点×5人 125点	75	85	105	70
7	積極性 ・仕様書に記載されていない事項であって、業務の推進、目的達成のために必要と認められる提案があるか。 (該当する提案がない場合は、評価点は0点とする)	10点×5人 50点	36	32	38	36
8	費用対効果 ・評価点×(全提案者中最低見積額/提案者見積額) ※小数点以下第3位を四捨五入	10点×5人 50点	49.9	50	50	49.9
合 計		100点×5人 500点	348.9	359	402	333.9
委員の意見			●本県の現状に対する理解が不足していると感じる。 ●組織体制強化業務については、本県の実情に即した提案としては説得力に欠ける印象を受ける。 ●助言・活動支援業務に対する提案が薄く、施策を通じて県民にどのような変化をもたらすのかという視点が弱い。	●本県の現状や課題に対する理解が的確であり、事業背景の分析も丁寧に行われている点は評価できる。 ●分析結果が研修内容や支援策に十分に反映されておらず、提案が抽象的であり具体性が見られない。	●本県が重点的に取り組みたい分野を的確に捉えており、現代のネット社会における危機管理の重要性を踏まえた視点や、マーケティング、パブリック・コミュニケーションの観点から社会全体への配慮がなされている点が評価できる。 ●事業背景や本県の現状に対する理解についてやや不安が残り、現状分析の深さに関しても懸念がある。 ●連絡体制や迅速な対応など、支援体制が明確、具体的であり、実施段階での安心感がある。	●専門性の高い複数の企業が連携して取り組む体制を構築する点は評価できる。 ●提案全体を通じて、D社としてどのような方向性を目指しているのか、あるいはどのような役割を担うのかといった点が不明瞭。 ●迅速な対応や責任の所在といった点に不安がある。